

令和 5 年度 第 2 回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨

日 時 令和 5 年 7 月 3 日 (月) 14:00～16:50
場 所 大学院セミナー室
構 成 員 8 名 (出席者 7 名)

(幹事会委員) 以下は「幹事会幹事会運営に関する申し合わせ」第 2 条の号数

1 号委員 (がんセンター長)	増田 昌人
2 号委員 (沖縄県立中部病院)	天願 俊穂
2 号委員 (那覇市立病院)	宮里 浩
3 号委員 (沖縄県立宮古病院)	西原 政好
3 号委員 (沖縄県立八重山病院)	松村 敏信
3 号委員 (北部地区医師会病院)	柴山 順子
4 号委員 (琉球大学上原キャンパス事務部総務課長)	仲本 律雄
(欠席者)	
4 号委員 (沖縄県保健医療部)	新城 光雄
(陪席者)	
沖縄県立宮古病院長	岸本 信三
琉球大学病院医療福祉支援センター	有賀 拓郎
がんセンター	石川 千穂

議事要旨・委員一覧

会議に先立ち、増田議長から幹事会委員の紹介があった。

1. 令和 5 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(4月10日開催)について
2. 令和 5 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(5月12日開催)について
3. 令和 5 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会議事録(5月12日開催)について

増田議長から資料 1 から資料 3 に基づき、令和 5 年度第 1 回幹事会議事要旨 (令和 5 年 4 月 10 日開催)、令和 5 年度第 1 回協議会議事要旨及び議事録 (令和 5 年 5 月 12 日開催) について報告があった。

4. 協議会・幹事会・部会委員について
5. 令和 5 年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田議長から資料 5 に基づき、令和 5 年度の協議会・幹事会の開催の日時について確認があった。

審議事項

1. 今年度の協議会の活動方針について

増田議長からの提案で、まずは審議事項 2 について、十分な議論を行ったうえで検討することとなった。

2. 第 4 次沖縄県がん対策推進計画 (当協議会案) について

増田議長から資料 7 に基づき、第 4 次沖縄県がん対策推進計画 (当協議会案) のロジックモデルについて説明があった。

松村委員から「施設」の定義について質問があった。増田議長から、「施設」＝「沖縄県におけるがん診療を行う医療施設」のことであると回答があった。具体的には、第 8 次沖縄県医療計画に基づき、2018 年に 12 のがん種について選定条件が作成され、その年の医療機能調査の結果に基づき、「沖縄県におけるがん診療を行う医療施設」が選定された。その後は、毎年の医療機能調査に基づき、選定条件に合った「沖縄県におけるがん診療を行う医療施設」が選定されている。選定条件は、県庁の HP に公開されているとの回答があった。また松村委員から、その条件だと離島の病院は該当しな

いのかと質問があり、増田議長から、現時点ではその条件を満たしている病院はないとの回答があった。

今回のがん計画においてがん対策に協力をお願いする医療機関は、「がん診療連携拠点病院等」（＝拠点病院＋診療病院の6病院）および「沖縄県におけるがん診療を行う医療施設」（＝11病院＋5診療所）である。そのため、離島の県立宮古病院と県立八重山病院はがん対策に協力をお願いする医療機関として該当すると回答があった。

宮里委員から、施策について県が直接実行するのではなく、県に施策毎に予算をつけてもらうという考え方で良いかと質問があり、増田議長から理想としてはそうであるが、全ての項目に予算を付けるのは難しいので、重点項目には予算を付けていただきたいと、協議会から県へ要望を出すのはどうかとの回答があった。また、宮里委員から協議会から県へ施策を提案した後、その施策がどのように実行されるか質問があったが、まだそこまで議論されてない旨の回答があった。

7 ページのがんゲノム医療の個別施策について、「琉球大学病院において」となっているが、そこに中部病院も加えることとした。

7 ページの手術療法の専門医の数について、肝胆膵外科専門医や代表的な外科専門医も加えることとした。

増田議長から、22 ページの離島・へき地の個別施策について、呼吸器外科専門医と乳腺外科専門医以外の専門医を記載する必要があるか確認があり、もし意見があれば後日メール等で連絡いただきたいとの発言があった。

23 ページの相談支援の個別施策 3 番目の項目について、個別施策ではがん相談支援センターに立ち寄らなければならないシステムの構築となっているが、指標では相談した患者の割合になっているため、記載方法を検討することとした。

増田議長から、指標の数が多いためどの項目を重点にするべきかとの質問があり、西原委員から、がん検診の受診率をあげるための施策を充実させることが必要との意見があった。また、がん対策の戦略を担うような人材を県の予算で雇用してはどうかとの意見があった。

増田議長から在宅医療について、自宅ではなく中間施設（老健施設等）でみとれる施設を増やせないかと提案があり、柴山委員から緩和ケアや高齢者のがんの項目にいれられないかとの意見があった。

3. アピランス支援モデル事業について

増田議長から資料8に基づき、令和5年度アピランス支援モデル事業について説明があった。

令和5年度アピランス支援モデル事業に採択されたため、本島と宮古と八重山の3箇所で開催者向けの研修会を実施する予定である。また地元の患者向けの研修会も実施する予定である。

（以下については、紙面報告となった）

報告事項

1. 患者会よりの報告

- (1) 田盛委員報告
- (2) 与儀委員報告
- (3) 島袋委員報告

2. 各拠点病院が取り組もうとしているがん対策について（4月～6月の進捗状況）

3. 大腸がん死激減プロジェクト連絡会議について

4. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告

5. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

6. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

- (1) 第88回がん対策推進協議会
- (2) 第23回厚生科学審議会がん登録部会
- (3) 第23回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会
- (4) 第38回がん検診のあり方に関する検討会
- (5) 第10回今後のがん研究のあり方に関する有識者会議
- (6) 第11回今後のがん研究のあり方に関する有識者会議

(7)第12回今後のがん研究のあり方に関する有識者会議

部会報告事項

1. 医療部会
2. 緩和ケア・在宅医療部会
3. 小児・AYA部会
4. 離島・へき地部会
5. 情報提供・相談支援部会
6. ベンチマーク部会

以上